



3年1組 国語科学習指導案

単元名

モロッコと交流！
千代田区しょうかいパネルを作り、
感想を伝え合おう

単元の目標

①書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、互いの文章のよさや工夫に気付くことができる。
②考えとそれを支える理由について理解することができる。

単元計画

学習過程

教師の手だて

本時の展開 (5時間目/10時間)

次	時	単元計画
1	1	問いをもつ ゴールイメージをもつ モロッコの小学生に行ったインタビューをもとに千代田区のどんなよさを紹介すればいいか問いをもつ。
	2	見通しをもつ / 解決方法を考える 第1時でもった問いをもとに紹介するものを決める。
	3	自分で調べたことを「学びポートフォリオ」にまとめていく。
2 (本時)		取り組む 組み立てを考える A、B、Cの3つの紹介文を読み、パネルチャット※1への書き方を知る。
	5	A、B、Cの3つの紹介文を比較し、どんな組み立てや内容がよいかを対話を通して考える。(パネルチャット)
	6	自分の「学びポートフォリオ」をもとに、パネルにする紹介文を書く。
	7	個人で作った「学びポートフォリオ」を見合いながらグループでギャラリートーク※2発表会に向けて紹介文を書き、パネルを作成する。
3		取り組む / 振り返る グループでギャラリートーク発表会 作ったパネルの文章を読んで交流し、感想を伝え合う。
	8	
	9	学習を振り返る ギャラリートークを通して、学習を振り返る。
	10	振り返る / 新たな問い パネルを修正し、完成する。 紹介文をモロッコへ送付する。

※1「パネルチャット」とは、自分の考えをホワイトボードなどに書いて一斉に見せ合い、互いの意見を比べながら話し合う活動のこと。
※2「ギャラリートーク」とは、自分(グループ)の考えや作品を掲示し、友達が見て回ってコメントや意見を交流する活動のこと。

問いをもつ
(第1時)

見通しをもつ
解決方法を考える
(第2・3時)

取り組む
(第4～7時)

振り返る
(第8・9時)

新たな問い
(第10時)

①ゴールの設定・導入の工夫

- 総合的な学習の時間でのモロッコ大使館との交流から、モロッコの小学生に千代田区のどんなよさを紹介すればいいかについて問いをもつ。

②③知識の想定(内容)(解決方法)

【3年国語「こまを楽しむ」】

- 文章全体の組み立て「段落」・「はじめ」・「中」・「終わり」

【3年国語「仕事のくふう、見つけたよ」】

- 読む人のことを考えて、書く内容を選ぶ。引用するなど。
- 児童が気付いたことをもとに、報告文の書き方のポイントを作成する。

【3年算数「ぼうグラフと表」】

- データの分類・整理など。

④児童が選択した方法で解決する場の設定

- 構成や内容に着目して紹介文A、B、Cの中からよいと思ったものを選択して考えをまとめる。
- 紹介文A、B、Cについて、自分と考えが似ている人や質問がある人と交流する。(事前にクラウド上で考えを共有する。)

- モロッコの小学生に紹介したいことや調べ方を選び、調べたことを「学びポートフォリオ」として作成する。
- グループの友達と相談しながら、パネルにする内容を選択して制作する。

⑤児童が自分の学習を振り返る場の設定

- ギャラリートークを通して3つの視点で振り返り、有能性、自律性、関係性の内発的動機への達成を促し、新たな問いへの意欲を高める。

【3つの視点】

- 伝えようとしていることを分かりやすく書けたか。
- 自分で伝えたいことを選んだり、書き方を工夫したりできたか。
- 内容や書き方について他のグループに感想を伝えられたか。

⑥新たな問いを解決する場の設定

- モロッコへ送付する際に自分の文章の書き方やよい点に気づき、次回の発表に生かす。

(1)本時の目標

紹介文の例文に対する感想や意見を伝え合い、伝わりやすい紹介文の書き方を考えることができる。【思考・判断・表現】

(2)本時の展開

学習過程	○ 学習活動 C: 予想される児童の反応	● 教師の手だて ◆ 評価【観点】(方法)
取り組む	○ 学習のめあてを確認する。 伝わりやすい紹介文のポイントを考えよう。	● 事前に紹介文A、B、Cの中から自分がよいと思う紹介文を選び、理由をクラウド上に作成する。さらに、友達の意見を読んで思ったことを付箋で色分けして書き込む。 ● 青い付箋 「賛成・補足」 ● 黄色い付箋「疑問・質問」
	○ フリーディスカッションタイムを行い、考えを交流する。	
	○ 自分のパネルの付箋を全て読み、書いてくれた人の所へ行き、意見交流する。	
	C: 僕はBの紹介してる説明が短くて分かりやすいし、体験も入っているという理由で伝わりやすい紹介文だと思った。(賛成意見) C: 私もAがいいなと思ったけれど、個人的な体験を入れるというよさもあると思う。(補足意見) C: Cは写真も入っていて読みやすいとは思いますが、Aのように体験がない。(質問・疑問意見)	紹介文A、B、Cの主な特徴 紹介文A: 自分の体験が書かれている。 紹介文B: 紹介したいもののよさや自分の考えが短く書かれている。 紹介文C: 紹介するものに関連した写真等が載っている。
	○ フリーディスカッションの内容をグループでシェアし、どんな紹介文が伝わりやすくなるのかグループで考える。	● グループは、紹介文を作成するメンバーで編成する。
	C: 読む人に分かりやすくなるように、伝えたいことに合った写真や絵を入れるとよい。 C: 読む人が分かりやすいように、自分たちの体験や考えをいくつか入れるとよい。	◆ 紹介文の例文に対する感想や意見を伝え合い、伝わりやすい紹介文の書き方を考えることができる。【思・判・表】(観察・ノート)
	○ 学習を振り返り、伝わりやすい紹介文のポイントについて個人でまとめる。	● よりよい構成や内容について考え、次時への見通しをもつ。